

ルート案内時の注意点

● ルート案内全般の注意点

- 表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。
- 道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 細街路を通るルートでは交通規制を考慮しない場合がありますので、必ず実際の交通規制に従って走行してください。

● ルート探索中の注意点

- ルート探索中に走行すると、現在地(自車)マークの移動が遅くなる場合があります。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- 道路が近接している所では、最詳細地図で車線などを確認して、目的地や経由地を設定してください。特に、サービスエリア(SA)やインターチェンジ(IC)など上りと下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 目的地が遠すぎる場合や交通規制で目的地や経由地まで到達できない、または極度に迂回したルートしかない場合など、条件によってはルート探索できない場合があります。この場合、目的地や経由地までの距離を短くするなどして再度ルート探索してください。

● 下記のようなルートが表示されることがあります。

- ・ ルート探索すると現在地(自車)マークや目的地の前後にルートを表示することがあります。
- ・ 現在地(自車)マークが実際の現在地とずれている状態で、ルート探索を行うと意図しないルートが表示されることがあります。(実際の現在地は一般道路なのに、ルートの出発地が近くの高速道路の上になっているなど。)この場合、現在地(自車)マークを正しい位置に戻してから、再度ルート探索を行ってください。
- ・ 登録地点から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。この場合、目的地や経由地の位置を修正し、再度ルート探索を行ってください。
- ・ 探索条件の「**距離優先**」でルート探索しても、細街路や有料道路を何度も通るルートを表示したり、出発地や目的地の近くでは、安全のため通りやすい道路を優先して距離優先にならない場合があります。
- ・ 探索条件の「**一般優先**」でルート探索しても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。この場合、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- ・ 陸路のみで目的地に到着できるときや、探索条件でフェリーを優先「しない」に設定しても、フェリー航路を使用するルートが表示される場合があります。この場合、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- ・ フェリー航路は旅客のみ、二輪車のみを航路を除く主要航路をルート探索しますが、あくまで目安としてお考えいただき、実際の所要時間や運行状況などをご確認のうえご利用ください。

● 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、下記のようになることがあります。

- ・ どれか1カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルート画面が表示されません。
- ・ 経由地付近でルートがつかないことがあります。
- ・ 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。

● ルート案内中の注意点

- 目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探るか、ルート削除をしたときにルートは消えます。
- 大型車で使用する場合、ナビゲーションが設定するルートが大型車に適した「道幅」や「高さ制限」を考慮しないため、実際にはそぐわない案内がされることがありますのでご注意ください。